

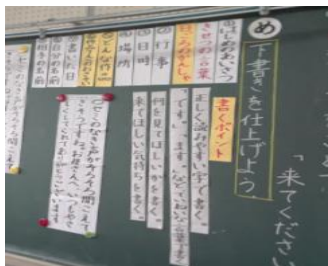
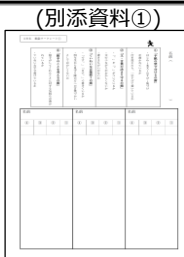
取組みテーマ：自ら考え、伝え合う子の育成～思考を深める能動的な学びの授業をどう創るか～

背景・取組みの方向性

- 【背景】・令和元年度及び令和3年度の全国学力・学習状況調査の結果より、記述式問題において自分の考えをまとめて書く、要約することに課題がみられた。  
 ・また、「意見を交流して課題を追究していく力」を育む授業改善が必要であることがわかった。
- 【取組み】・書くために必要な自分の考えをまとめる力や自分の考えをわかりやすく表現する力を育むため、自分の考えを書く活動を中心に据える。文章を推敲することや表現力を高めるために言葉を広げることを大切に、「自ら考え、伝え合う子の育成～思考を深める能動的な学びの授業をどう創るか～」をテーマに取組みを進めていく。  
 ・自分の考えをもち、それを書いたり話したりして互いに伝え合うことで、自分と異なった意見も受け止めることを大事にする。自分の意見との違いふれ、多様な考えを知り、より良い考えを深めていく。

具体的な取組み① 自分の思いを伝えるための工夫

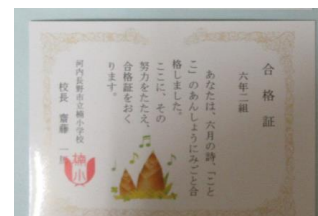
- 【低学年】書き終えた文章を読みなおす場面を設定する。  
 【中学年】手紙の組み立てでは、推敲ワークシートを活用し、相手を意識した表現を大切に。 (別添資料①)  
 【高学年】互いに読み合い、自分たちで表現方法を工夫する。(別添資料②「書く場面で大事にしたこと」の系統表)  
 【支援学級】日常生活を切り取ったロールプレイから、必要な情報をメモし見なおす。



**ポイント**  
 児童が互いに文章をより良くしようと意欲的に取り組むために、書く時、推敲する時のチェックポイントを提示する。

具体的な取組み② 言葉を広げるための工夫

- 低・中・高学年向けの詩を紹介し、廊下や階段に掲示する。その詩を校長先生が聞く、暗唱テストを実施し、子どもたちは意欲的に校長室を訪ねてチャレンジしている。合格したらもらえる賞状も励みとなっている。
- 「運動会で五・七・五」運動会に向けての気持ちを川柳に表現したものを募集し、写真付きで掲示した。また、「うれしい気持ち伝えよう」という200字の作文を募集し、放送で紹介するなど、子どもたちの書くことへの意欲につなげている。
- 読書ノートを活用し、書く観点を示すことで、感想の書き方を学習した。



★おもしろかったところをひとつさかして書いてみよう。  
 ★自分なら どうするか？と 考えたことを書いてみよう。

**ポイント**  
 子どもたちに書く観点を示し、より具体的に書くことを意識させる。

取組みの成果と課題、今後に向けて

- 成果
  - ・意図的に表現する場面を設定した授業改善により、自分の考えを伝え合うことができるようになってきている。
  - ・各アンケート項目の肯定的な回答の割合が増加した。特に、「自分の考えを伝えるとき、相手や目的などを意識して伝え方を工夫している。」の項目において、成果が見られた。
- 課題
  - ・情報を取り出して自分の力で構築して文章を作ることや、文章を整えること、語彙力に課題がみられる。
- 今後に向けて
  - ・自分の考えをまとめること・要約すること・文章全体の構成や展開を考えることができる力を育成するために話し合い活動を積極的に取り入れ、深い学びにつなげていきたい。

